



教員が研究の楽しさを語る

第189回(5/15)阿部 明典先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

1. 言葉の現在: ハイデガー言語論の視角

著者: 斧谷彌守一著

出版: 筑摩書房, 1995.3

コメント: ことばを哲学的、特に、存在論、現象学の観点から議論した本

2. ことば工学入門

著者: 松澤 和光, 堀 浩一, 金杉 友子 [他], 阿部 明典

出版: 人工知能学会誌 15(3), 446-455, 2000-05-01

3. 座談会: ことば工学のススメ: 計算機はアーティストになれるか?

著者: 須永 剛司, 松浦 寿輝, 堀 浩一 [他], 松澤 和光, 阿部 明典

出版: 人工知能学会誌 15(3), 456-467, 2000-05-01

コメント(2と3): ことば工学発足当時の論考、座談会

4. チャンス発見の情報技術: ポストデータマイニング時代の意思決定支援

著者: 大澤幸生監修・著

出版: 東京電機大学出版局, 2003.9

5. Chance discovery

著者: Y. Ohsawa, P. McBurney (eds.)

出版: Springer, 2003

コメント(4と5): チャンス発見の初期の本

6. ことばは味を超える: 美味しい表現の探究

著者: 瀬戸賢一編著

出版: 海鳴社, 2003.2

コメント: 味ことばに関する本

7. 感じることば

著者: 黒川伊保子著

出版: 河出書房新社, 2016.7 (河出文庫)

コメント: 味ことばに関する本





8. 感性をもって活動するロボット：2050年の予測

著者：日本総合研究所, 日本ロボット学会, 人工知能学会, 日本人間工学会編

出版：経済産業省, 平成18年技術戦略マップローリング事業 ロボット分野に関するアカデミックロードマップ
報告書, pp. I-30-I-43 (2007)

コメント：将来的には、物語などを作るロボットが色々な場で活躍するであろう(べきである)という話

【Webページから全文ダウンロードできます】

http://www.meti.go.jp/policy/economy/gijutsu_kakushin/kenkyu_kaihatu/18fy-pj/18robot.pdf

9. *Philosophy and cognitive science : Western & Eastern studies*

著者：Lorenzo Magnani and Ping Li (eds.)

出版：Springer, c2012

コメント：認知科学と哲学の論文集

10. 一人称研究のすすめ：知能研究の新しい潮流

著者：諏訪正樹, 堀浩一編著；伊藤毅志 [ほか] 共著

出版：近代科学社, 2015.4

コメント：一人称研究という客観主義とは相対した学問の提案

11. 青山デザイン会議(Vol.197)人工知能が、広告を変える

著者：阿部 明典, 長井 健一, 福部 明浩

出版：ブレーン 56(6), 84-93, 2016-06

コメント：デザインとAIについて対談したもの

【Webページで閲覧できます】

<https://mag.sendenkaigi.com/brain/201606/aoyama-meeting/008135.php>

12. *Computational and Cognitive Approaches to Narratology*

著者：Takashi Ogata, Taisuke Akimoto eds

出版：Information Science Reference, 2016.7

13. *Content Generation Through Narrative Communication and Simulation (Advances in Linguistics and Communication Studies)*

著者：Takashi Ogata, Shin Asakawa eds

出版：Information Science Reference, 2018.2

コメント (12と13)：物語の自動生成などの論考

14. 人を動かす「仕掛け」：あなたはもうシカケにかかっている

著者：松村真宏著

出版：PHP研究所, 2017.6

コメント：仕掛け学の漫画での入門書